

## ▼インテレンス錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 エトラビルン etravirine 【分類】 抗 HIV 薬 [NNRTI]

【単位】 ▼100mg/錠

【常用量】 1回 200mg を 1日 2回

【用法】 必ず食後

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1, Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (1, Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591)

【特徴】 HIV-1 に対する NNRTI. 他の NNRTI 耐性株に対しても効果がある。

【主な副作用・毒性】 重篤な皮膚障害, 発疹, 悪心, 下痢, 肝炎, 腎不全, 横紋筋融解症, 貧血, 過敏症, 体脂肪の再分布/蓄積, ニューロパシー, 感覚異常など多数。

【安全性に関する情報】 QT 延長に関与しない (Peeters M, et al: Ann Pharmacother 42: 757-65, 2008 PMID: 18445705)

【吸収】 空腹時投与で F が 51%低下 (1, Scholler-Gyure M, et al: Pharmacotherapy 28: 1215-22, 2008 PMID: 18823217)

【F】

【tmax】 4hr (1)

【代謝】 CYP3A4, 2C9, 2C19 で代謝される (1) 代謝物の活性は弱い (1) CYP3A4 に対して弱い誘導作用を示し, 2C9, 2C19, P-gp に対して弱い阻害作用を示す

(1) 代謝物は UGT でグルクロン酸抱合される (Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591)

【排泄】 尿中回収率 1.2% で未変化体は検出されない (1) P-gp の基質ではない (Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591)

【t1/2】 41±20hr (1, 抗 HIV 薬治療ガイドライン 2012) 30~40hr (Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591)

【蛋白結合率】 99.9% [Alb, AAG] (1, Scholler-Gyure M, et al: Clin Pharmacokinet 48: 561-74, 2009 PMID: 19725591)

【Vd】 資料なし (1)

【MW】 435.28

【透析性】 除去される可能性は低い (1)

【O/W 係数】 LogP=5 以上 [1-オクタノール/buffer, pH7] (1)

【相互作用】 オメプラゾール併用で CYP2C19 阻害による AUC の 41%増大が認められるが臨床的には問題ないレベル (Scholler-Gyure M, et al: Br J Clin Pharmacol 66: 508-16, 2008 PMID: 18492125) CYP3A4 を誘導, CYP2C9・2C19 阻害, P-gp 阻害 (1)

【更新日】 20200711

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。